

木曽岬町議会議員 の伊藤守です。

2013年に初当選以来、3期目です。防犯対策、少子化対策、コミュニティバス、防災、環境問題、企業誘致などの質問を行ってきました。町民の皆さんのより良い暮らしのために、議員として行政に訴えていくつもりです。ご支援よろしくお願いします。



木曽岬町は、ここ最近犯罪が目立っています。現在まで、防犯については、議会の一般質問で、防犯カメラを含め何度も質問し、行政の対応を要望してきました。また自主防犯組織育成と青色回転灯パトロール車の活用や支援についても

訴えてきており、防犯パトロールの一員として積極的に参加してきました。安心安全な木曽岬町を作っていきたいと考えています。裏面に行政への一般質問を記載しました。



議会の仕事

議会運営委員会	副委員長
総務建設常任委員会	副委員長
教育民生常任委員会	委員

地域の仕事

ボラ倶楽部 会長 (H23.24)
主に夏祭りの運営

土地改良区総代 (H13.9～H17.9)
土地改良区総代、理事 (H17.9～H21.9)

木曽岬中学校PTA会長 (H14)
きそさき防犯パトロール隊 (H26.6～)
地区防災会会長 (H26.6.1～R6.1)
雁ヶ地、脇付、田代住宅、新脇付地区

国会議員秘書(H31.1～R5.3)

略歴

30.1.6農家の家に生まれる
木曽岬小学校卒業
木曽岬中学校卒業
佐屋高等学校卒業
家族 妻 母
子ども 長女次女長男

連絡先

ホームページ
<https://ito-mamoru.com>
メール
ito.mamoru@gmail.com
電話
090 5868 8872
事務所
〒498-0818
木曽岬町雁ヶ地263

伊藤守の議会での一般質問

こんな質問をしてきました。



コミュニティバス

町民の要望でもある最終便の時間の延長し、70歳以上、妊産婦及び障がい者を無料にすべきです。



環境問題

外来種が自然環境や生き物の生態系を崩しているようなので、対策を進めていただきたいと考えています。



防災

防災リーダーの養成や災害時にドローンを使うことで、救助活動を進めることができると考えています。



企業誘致

町の税財源の確保の面や雇用に関して、地域経済や町内の定住化に繋がる可能性が大きいと考えています。

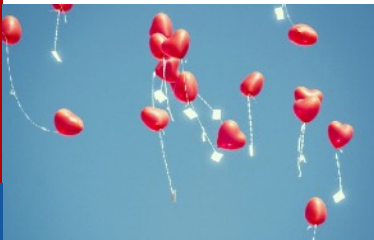


少子化対策の取り組み

国の異次元の少子化対策なども踏まえ、町の結婚支援や子育て支援について、特に力を入れたい取り組みを質問しました。子育て支援体制の強化を図るために新たに子ども・健康課を設置し、子ども子育て関連の窓口を保健センターに一本化でき、窓口のワンストップ化が実現し、子育てに関する相談、児童手当や福祉医療の手続きなどすべて保健センターで対応することができるようになりましたとの答弁をいただきました。

アンケートと支援

マザーアンドチャイルド協会が、妊娠中または産後の女性を対象とした調査をしました。約4割が産みたくても産めない現状があります。少子化の一番の理由は、経済的な不安で、次に、仕事と家庭の両立です。木曽岬町でもアンケート調査や支援の必要性を訴えました。



耐震のアピールの要望

木曽岬町で今まで何軒の人が診断を受け、何軒補強工事をされ、診断が進まない理由を質問しました。木曽岬町防災対策事業補助金(防災グッズ購入)や家具を無料で固定するサービスを町民にもっとアピールするように要望しました。

耐震補強についての支援

耐震補強の目的は、家が崩れてつぶされてしまうリスクを減らすことにあり、逃げる時間を稼ぐために行うものでもあります。家を守るのではなく、命を守るために行うものだと理解すれば無駄ではありません。補助金実績が耐震診断をして、1件しかないことについて問いました。

自主防災会の支援

自主防災会をこれまで以上に役場が寄り添って、育てることが重要であることを問いました。自主防災組織を対象にした勉強会を開催し、活動内容や資機材の取扱いなどを周知するとともに、自主防災組織単位での訓練実施の働きかけや支援に取り組んで参りますとの答弁をいただきました。

外国人への避難所対応

外国の方が626人在住しています。避難所に来られた際、言葉の問題などで対応について質問しました。防災ガイドブックを日本語以外に英語、ポルトガル語、ベトナム語の3か国語でも作成しており、外国人の転入手続き時に役場窓口において配布しているところだとの答弁をいただきました。

耐震と防災についての質問